

【平成 19 年度 兵庫県大学図書館協議会 講演会】

絵本の扉をひらく
—子ども文庫から、ブリティッシュ・ライブラリーまで—

日時 2007 年 11 月 16 日(金)

会場 聖和大学 6 号館 612 教室

正置友子(まさきともこ)

【主旨】

「本」は、人間にとって「水」のような必需品であり、「図書館」は「水道」のように生きるために必要な設備です。本講演会では、子ども文庫の主宰者として 34 年間子どもたちと絵本や詩や物語を楽しんできた経験と、日本とイギリスとアメリカの図書館で絵本の研究をしてきた体験から、子ども・学生・市民にとっての図書館の有り様を考察したいと思います。6 年間通い詰めたブリティッシュ・ライブラリーで、資料の前では(図書館の中では)、人は自由で平等であると感じたときの喜びと共に。

* * *

【個人的読書小史】

名古屋生まれ。子ども時代の読書体験

【紹介する「本のある場所」】

1. 子どもたちと本のある場所

青山台文庫 1973 年開始。来年 35 周年。約 3000 冊の絵本・読み物・昔話・科学の本・詩集・など所蔵。
始めの数年は自宅で、現在は吹田市青山台 C42 棟公団集会所で、週 1 回開催。
2001 年より、「だっこでえほんの会」をスタート。0 歳～3 歳の乳幼児と絵本をシェアする。

2. イギリスでのヴィクトリア時代の絵本研究のために利用した図書館・施設

ヴィクトリア朝時代の絵本研究を 6 年間(1994 年～2000 年)行い、博士論文 *A History of Victorian Popular Picture Books* (ヴィクトリア朝時代の絵本) 全 3 巻にまとめ、国立ローハンブトン大学より博士号取得。
風間書房より出版(2005 年)。全 2 巻。第一巻は本文と書誌、第二巻はイメージ。英文。

1) The British Library, London, UK

ブリティッシュ・ライブラリー。旧ライブラリーから 1997 年に新ライブラリーへ。

2) The British Library: The Newspaper Library, London, UK

新聞図書館。ブリティッシュ・ライブラリーの分館。

3) The National Art Library, the Victoria and Albert Museum, London, UK

国立美術図書館。ヴィクトリア & アルバート美術館の中にある。

4) The St Bride Printing Library, London, UK

セント・ブライド印刷図書館。印刷機械も収蔵。

5) The Renier Collection, the Bethnal Green Museum of Childhood, London, UK

ベスナル・グリーン子ども博物館。この中にレニア・コレクションがあったが、現在、V&A に収蔵。

6) The Opie Collection, the Bodleian Library, Oxford, UK

オックスフォード大学図書館。この中にオーピー・コレクションが収蔵。

7) The Norman Waddleton Collection, Cambridge University Library, Cambridge, UK

ケンブリッジ大学図書館。この中にノーマン・ワドルトン・コレクションが収蔵。ただし書誌情報整理が遅れている。整理されれば、カラー図版入りの資料の一大収蔵となる。

- 8) The Bloomsbury Science Library, University College London, London, UK
ロンドン大学の図書館の一つでレア・ブックス / 資料を収蔵。ここに出版社ラウトリッジからヴィクトリア時代の貴重な資料が委託されており、ラウトリッジ社のアーカイブズとなっている。
 - 9) The Archives of Routledge & Kegan Paul Publishers, London, UK
ヴィクトリア時代に活躍したラウトリッジ社は今もロンドンで営業している。ロンドン大学のアーカイブズにほとんど委託されているが、多少、出版社にも社の資料が残存。
 - 10) London College Printing & Distributive Trades, London, UK
印刷・流通カレッジ。その方面の資料を収蔵。
 - 11) The Osborne Collection of Early Children's Books, Toronto Public Central Library, Toronto, Canada
オズボーン・コレクション。カナダのトロント中央図書館に収蔵。全2巻のカatalogもあり、便利。
 - 12) The Ruari McLean Collection, the Robert Davies Library, Massey College, Toronto, Canada
マックリーン・コレクション。ヴィクトリア朝時代を中心とするデザイン・本の装丁研究の第一人者ローリ・マックリーンの蔵書を所蔵。トロント大学マッシー・カレッジの図書館。
 - 13) The University of Roehampton
ローハンブトン大学。サリー大学のローハンブトン・インスティテュートから、2000年にローハンブトン大学として独立。図書館(情報館)も拡充した。
3. 「戦後60+1周年子どもの本・文化プロジェクト」のために利用した図書館・施設
- 1) The Prange Collection, Libraries, the University of Maryland, USA
プランゲ・コレクション。メリーランド大学図書館所蔵。日本の戦後(1945～1949)第一次資料を収蔵。
 - 2) The Children's Book Center, the Library of Congress, USA
アメリカ議会図書館の児童室センター。
 - 3) 大阪国際児童文学館 明治以降の子どもの本の蔵書では、世界一
 - 4) 国際子ども図書館(国会図書館分館)
 - 5) 神奈川近代文学館
 - 6) その他
4. 地域図書館
吹田市図書館協議会委員 (以前、箕面市の図書館協議会にも関わる。)
公立図書館が身売りする時代
5. 聖和大学のおもちゃとえほんのへや
- 1) 聖和大学図書館
 - 2) おもちゃとえほんのへや
乳幼児教育に関わる勉強をしている学生のための施設
「SEIWA だっこでえほんの会」
「保育者のための絵本講座」

【紹介する「絵本」】

- 『おおはくちょうのそら』 手島圭三郎作 福武書店 1983 リブリオ出版 2001
- 『りんご』 松野正子文 鎌田暢子絵 童心社 1984
- 『きよしこのよる』 アイヴィン・シェイエ文 ヴェンケ・オイエン絵 山内清子訳 福武書店
1989(1982ノルウェー)
- 『おもいでのクリスマスツリー』 グロリア・ヒューストン文 バーバラ・クーニー絵 吉田新一訳
ほるぷ出版 1991(1988アメリカ)
- 『さむがりやのサンタ』 レイモンド・ブリッグズ作 すがわらひろくに訳 福音館書店 1974(1973イギリス)

『クリスマスのものがたり』 フェリクス・ホフマン作 しょうのこうきち訳 福音館書店
1975(日本で出版 ホフマンはスイスの人)
『ほしのひかったそのばんに』 わだよしおみ文 つかさおさむ絵 こぐま社 1966
『ろびんのくりすます』 かすや昌宏絵 渡洋子詩 至光社 1984
My Mother 他 Walter Crane, Routledge, 1873

【個人的な図書館への思い】

人が、よりよい生を営むことを、資料を通してサポートする場所である。

本(資料)の前では、人は自由で平等である。また、そのことを伝える空間が図書館である。